



## 実習のすすめ方

### ● すすめ方の一例

#### ① ちりめんじゃこの説明

ちりめんじゃこの原料となるカタクチイワシについて説明します。可能であれば、漁法や加工法についての簡単な説明も行います。

#### ② 広げる

ちりめんじゃこをひとつまみ（大さじ1杯ほど）お皿にとり出して、薄く広げます。一度にたくさんの量を取り出すと、小さな生き物がちりめんじゃこに隠れて見つけにくくなります。少ない量でもしっかりさがせば、かなりの種類が見つかります（アレルギーへの配慮が必要な場合は、スプーンでとり分けるとよいでしょう）。

#### ③ チリメンモンスターをさがして、とり分ける

ちりめんじゃこ形や色が違う生き物をさがし、ピンセットで見つけたチリメンモンスターを小さなお皿など別の場所にとりわけます。

はじめは、「魚の仲間」、「エビ・カニの仲間」、「タコ・イカ・貝の仲間」で分けてみます。少しコツがつかめてきたら、魚の中でも形の似ているもの同士でグループ分けをしてみましょう。チリメンモンスターをとり分ける前にちりめんじゃこをしっかりと観察し、その特徴を認識してもらうことで、見るべきポイントが明確になり、さらにしっかりと見分けることができるようになります。

#### ④ 観察する

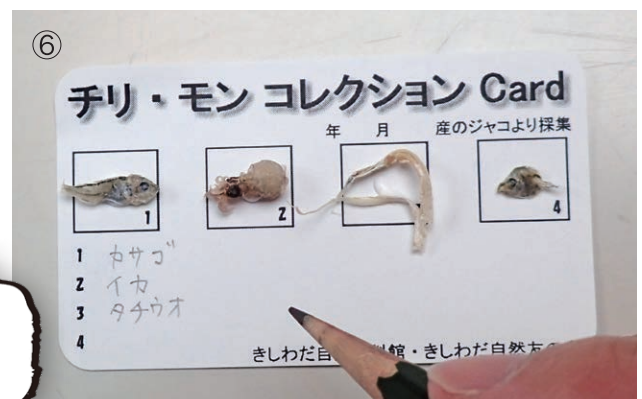
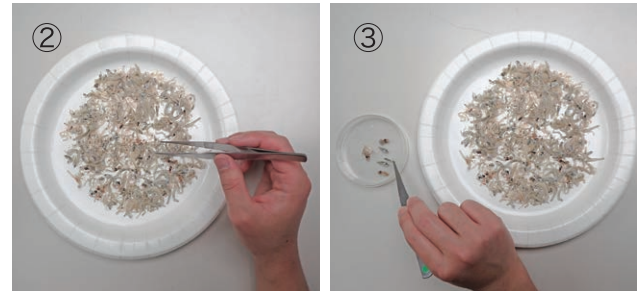
虫めがねや双眼実体顕微鏡を使って、見つけたチリメンモンスターの体のつくりを細部までしっかり観察します。

#### ⑤ 名前を調べる

関連資料を使って姿や形の似た生き物をさがし、とり分けたチリメンモンスターの正体を推察します。

#### ⑥ 作品をつくる

見つけたチリメンモンスターは、木工用接着剤で台紙に貼りつけます。先に台紙に接着剤をつけ、その上にチリメンモンスターをのせる方がきれいにできあがります。接着剤がある程度乾いたら、持ち帰り用のビニール袋やチャックつき袋に入れます。台紙に貼りつけるやり方はあくまで一例で、ほかにもさまざまな作品の作成法があります。詳細は15～22ページをご参照ください。



実習を通して  
より興味をもち、自分で  
調べるきっかけになるかも